

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもって話したり、聴いたりすることに課題がある。 ・自分の考えを分かりやすく文章に表すことに課題がある。 ・文章から必要な情報を取捨選択したり、全体像をつかんだりする力を高める必要がある。 ・文と文のつながりに気を付けて文章を構成したり、事実と感想、意見などを区別して文章を書いたりすることを苦手とする児童がいる。 ・文法、文字や語句、漢字の理解に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と意見を交流する機会を多く設け、自分の考えを話したり、友達の考えを聴いたりすることの楽しさを味わえるようにする。 ・書くことを習慣付けるとともに、推敲したり、友達と読み合ったりして、表現力を高める。 ・場面や段落ごとに区切るのではなく、全体がつかめるように、キーワードや短い言葉で全体を把握できるような授業展開を行う。 ・文法についての学習を、けやきタイムなどを利用し、定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見を交流する機会をもつことで相手意識をもって話せるようになった。内容の趣旨を捉えたり、相手の話を最後まで聞いたりすることは、意識できるように引き続き指導する。 △討論会や意見文の学習を通して、自分の考えを明らかにして書くことに慣れたが、作文を推敲し合う中で、文法や文章構成に課題が残ったので、個別指導を行う。 ○文章を要約する活動を通して、文章全体の構成や内容をつかめるようになった。 △けやきタイムを活用して、文法の学習を繰り返し行った。今後も、語彙を増やし、作文中に活用できるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料の中から適切な情報を読み取ることに課題がある。 ・市区町村や都道府県、世界の大陸や海洋と我が国の国土との位置関係を理解していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を示し、読み取るポイントを伝える。 ・結果から原因を考えることができるよう、課題提示を工夫する。 ・調べる場所だけでなく、その周囲にも目を向けさせ、位置関係をつかめるようにする。 ・授業だけではなく、日頃から世の中のニュースや出来事を意図的に取り上げ、その際に地図や地球儀を活用して、位置なども押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○統計資料などを読み取る際に、何が読み取れるかだけでなく、どの情報から読み取れたかまで共有し、ポイントを理解させた。 ○地図や資料集などを活用し、様々な視点から社会科の課題について考える活動を行い、児童の課題解決力を高めた。 △社会的事象の原因について考える学習活動を引き続き行う
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力、文章問題の理解、コンパスや分度器などの用具の使い方について個人差がある。 ・丁寧に問題を解いたり、深く考えたりすることが苦手な児童がいる。 ・自分の考えをノートに書ける児童が多い。 ・問題場面を図や数直線、言葉、式でノートに表し、それぞれを関連付けながら簡潔な言葉で説明する力を高める必要がある。 ・小数のかけ算、わり算では、商や余りの小数点の位置を間違えて誤答となることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けやきタイムに、東京ベーシックドリルの練習プリントなどに繰り返し取り組み、基礎基本の理解を深める。 ・解決の必然性のある問題を提示し、問題→めあて→（見通し）自力解決→集団解決→まとめ（適用問題）を基本とし、見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。 ・問題場面を図や数直線、言葉、式など、多様な方法でノートに表現できるようにする。 ・友達の考えを自分の言葉で説明する活動を取り入れ、自分以外の考えに触れ、よさに気付けるようにする。 ・図や式、言葉を用いて説明するよさを理解できるよう、引き続き指導する。 ・答えの見通しをもって計算に取り組んだり、検算をしたりする習慣を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○けやきタイムで繰り返し学習したことで、異分母。数の計算、単位量当たりの問題、作図などの理解の定着が高まった。 ○自力解決→集団解決→まとめを基本とした授業をすることで、見通しをもって取り組む児童が増えた。自分の考えをもって解決に臨む姿勢が高まった。 ○問題場面を図や数直線、言葉、式など、多様な方法でノートに表現する児童が増えた。自力解決時の方法も幅が広がった。 △数直線の単位や数量関係に意識が向くように、個別指導を続ける。 △商や余りの小数点の位置を間違えるところに課題が残った。見直しや検算が身に付いていないところがあるので、指導していく。

理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に意欲的に取り組む。 ・目的意識をもたずに実験に臨んでいる児童がいる。そのために、実験から何が分かるのか、理解できていないことがある。 ・実験器具を正しく使えない児童がいる。 ・実験や観察の結果を分かりやすく表し、結論を導き出す力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題、仮説・予想、実験方法、結果、考察のカードを使い、板書を構成する。 ・実験の目的を明確にできるよう、仮説を確認し、それを確かめるための実験方法を自分たちで考えるようにする。 ・実験に必要な器具を考え、選べるようにする。実験前に器具の正しい使い方を説明する。 ・結果から言えることを考察し、結論を導き出し、ノートに簡潔に書くことを積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題に対して予想し、自分たちで実験を通して検証することができた。 ○目的を意識して活動する児童が増えた。 ○多くの実験器具を扱うことを通して、一つ一つの正しい使い方が身に付いた。 △結果から言えることを考察し、結論を導き出し、ノートに簡潔に書くことに差が出た。ノートを紹介し、参考になるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の出す声を考えながら発声する児童が増え、頭声発声の感覚をつかんでいる児童が増えた。半面、声を出すことが恥ずかしい児童もいる。 ・音が出せない中だったが、リコーダーの練習に集中して運指がスムーズにできる人とサミングがうまくいかず、練習が進まない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動でお互い励ましあいながら楽しく活動をする場を多く持つ。 ・個に応じた楽譜をいくつか用意し、自分でレベルを選んで練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダー曲では、3パターン之乐譜を用意し自分のレベルに合わせて楽譜を選ぶことにより、演奏ができる達成感を持つ児童が多かった。 △ペアやグループ学習ができなかったため、友達と励まし合いながら活動することができなかった。友達の音を学習プリントなどで評価し合う活動を取り入れていきたい。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決ができない。自分の感覚を通して形や色などを捉えることができない。 ・既習事項を生かして表現できていない。 ・自身の作品や活動に満足していない。自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見る視点がもてない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に授業に参加できる導入の工夫。体験的な学びから自分のイメージがもてるようにする。 ・表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。 ・自分や友達によさに気付くよう教師が言葉かけを行う。鑑賞活動の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の感覚を通して形や色などをとらえるように意識させる導入や、技法を選択する場面を多く設定することで主体的に活動できる児童が多く見られた。 △既習事項を生かして表現できていない。計画的な造形体験を積みませ、技能の定着を図る。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫では、初めての活動に慣れない児童が多いが意欲は高い。 ・実習などが制限されるため、衣食住に関する様々な用語を、実感を伴って理解することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作方法や実習手順を図や動画で提示する。 ・生活と結び付けて学習できるように、家庭と連携しながら学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用し、繰り返し活動内容を確認できる環境を整えた。 ○自分たちの生活と学習内容を結び付けて捉えられる児童が増えた。 △調理を行う実践の場は学校でできなかった。家庭に協力していただくことで、実践をすることはできた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に取り組むことができる。 ・チームでアドバイスしたり、励ましたりしながら運動することができる。 ・友達の動きに注目し、よさを見付ける力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートを活用し、本時の学習に見通しをもって取り組めるようにする。 ・グループで作戦を考えたり、その結果を振り返ったりする時間を設ける。 ・勝敗だけにこだわらず、全体で学ぶ環境を大切に指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育ノートを活用したことにより、児童が自分の学習課題を具体的に把握して運動できるようになった。 △コロナ禍で、実施できる種目が限られてしまい、運動内容の見直しをする必要である。

<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に声を出し、外国語に取り組む児童が多い。 ・アルファベットを書くことに時間がかかる児童がいる。特に大文字と小文字の違いを理解していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気を持続できるよう、課題提示の方法を工夫する。 ・4線を意識して書くことができるように指導する。 ・アルファベットを書く活動を取り入れ、大文字と小文字の違いに気を付けて指導を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンツやゲーム場面を多く設定し、全員が学習内容を生かすことができた。 ○書く活動を多く取り入れることで、書くことへの抵抗が以前と比べて減り、意欲的に取り組む児童が増えた。 ○個人差があるが、全面的によく声が出て発音することができた。 △4線を意識して大文字、小文字の違いが身に付いた児童も多いが、一部の児童は引き続き指導が必要である。
------------	--	--	--